

事業の概況

■緩やかな景気拡大局面が続く

当連結会計年度（2007年1月1日～2007年12月31日）におけるわが国経済は、原油価格の上昇やサブプライム住宅ローン問題の表面化により、先行きの不透明感が強まりつつあるものの、企業収益の改善や設備投資の増加に支えられて、長期にわたる緩やかな景気拡大局面が続いてきました。

当社グループの属するIT関連業界においては、大手企業におけるIT投資額の伸びが大きく、中堅・中小企業も堅調に推移しました。IT投資のニーズとしては、業務処理の効率化や高度化による経営基盤強化に加えて、法令や公的手続電子化への対応、内部統制の体制構築、情報セキュリティ対策強化、情報システムインフラ整備等があります。

■総合力を活かした情報システム提案

このような中で当社グループは、2007年度のスローガンを「お客様の目線で信頼に応え、お客様と共に成長する」とし、独自開発の顧客管理及び営業支援システム「SPR」の機能強化と活用をより一層図り、複写機、コンピュータ、FAX、電話機、回線等を組み合わせるなど、当社グループの総合力を活かした情報システム提案を積極的に行いました。

また、情報セキュリティ関連ビジネス、ナレッジマネジメントシステム「ODS21」、統合型基幹業務システム「SMILE」、オフィスサプライ通信販売事業「たのめーる」、サポート事業「たよれーる」等に引き続き注力しました。この他、営業支援センターの業務拡大による営業効率向上やシステム開発案件のプロジェクト管理強化による開発品質及び生産性の向上に努めました。

S P R：当社独自開発の顧客管理及び営業支援システム。

ODS21：紙文書をデジタル複写機でデータ化し、他のデジタルデータとの一元管理により情報を共有、活用するナレッジマネジメントシステム。

SMILE：当社グループオリジナルの統合型基幹業務システム。

たのめーる：オフィスサプライ通信販売の事業ブランド。

たよれーる：お客様の情報システムや企業活動全般をサポートする事業ブランド。

■5期連続の増収増益

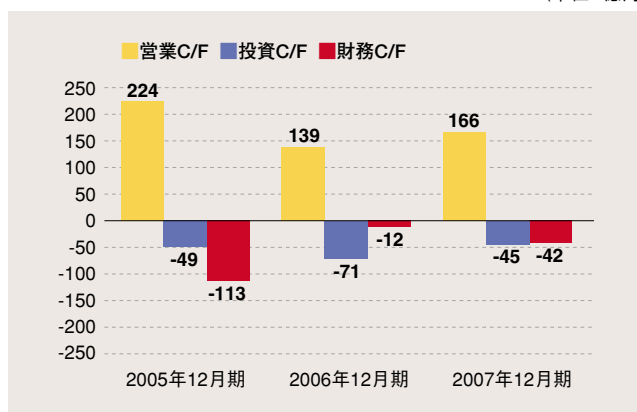
以上の結果、当連結会計年度の業績は、売上高4,694億81百万円（前年同期比8.3%増）、営業利益300億51百万円（前年同期比14.9%増）、経常利益305億20百万円（前年同期比15.2%増）、当期純利益は退職給付制度移行による特別利益の影響もあったため188億56百万円（前年同期比20.7%増）となり、5期連続で増収増益となりました。

（単位：百万円）

	2006年12月期	2007年12月期	
	金額	金額	増減率
売上高	433,617	469,481	+8.3%
営業利益	26,158	30,051	+14.9%
経常利益	26,494	30,520	+15.2%
当期純利益	15,621	18,856	+20.7%

■キャッシュ・フローの推移

（単位：億円）



営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前当期純利益が増加したことなどにより166億54百万円（前年同期は139億9百万円）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、投資有価証券の取得による支出が減少したことなどにより45億55百万円（前年同期は71億61百万円）となり、財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払額の増加などにより42億71百万円（前年同期は12億50百万円）となりました。

事業セグメント別の概況

■システムインテグレーション事業

コンサルティングからシステム設計・開発、搬入設置工事、ネットワーク構築まで最適なシステムを提供するシステムインテグレーション事業では、情報セキュリティ関連ビジネス、カラー複写機、ナレッジマネジメントシステム、CADシステム等が好調に推移し、売上高は2,797億53百万円(前年同期比6.2%増)となりました。

■サービス&サポート事業

サプライ供給、ハード&ソフト保守、テレフォンサポート、教育、アウトソーシングサービス等により導入システムや企業活動をトータルにサポートするサービス&サポート事業では、Webサイト及びカタログによるオフィスサプライ通信販売事業「たのめーる」や保守サービス等によりお客様をサポートする「たよれーる」事業といったストックビジネスが堅調に推移したことから、売上高は1,873億58百万円(前年同期比11.1%増)となりました。

■その他の事業

その他の事業では、売上高は23億70百万円(前年同期比59.0%増)となりました。

事業セグメント別の売上高推移

(単位:百万円)

